

コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当り7.96人とほぼ横ばいとなっています。安芸区では21.0人と特に多く、南区10.7人となっています。

2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り1.38人とやや増加しており、5週連続で増加しています。東区では4.0人と特に多く、安芸区3.0人、佐伯区2.7人となっています。

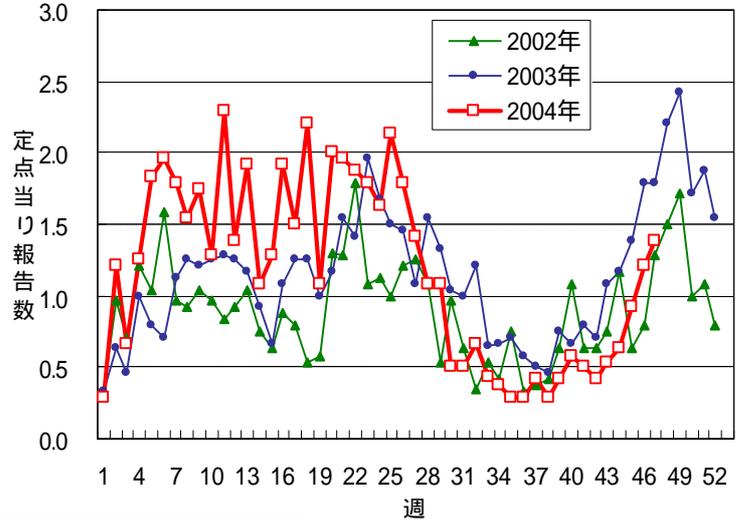
3. 水痘

定点当り1.38人とほぼ横ばいとなっています。

4. インフルエンザ

今シーズン初めて1件報告されました。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 過去4年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 過去4年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ (注2)	1	0.03	0.12		麻疹 (注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	2	0.08	0.07		流行性耳下腺炎	28	1.17	0.77	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	1.38	1.47	↗	RSウイルス感染症	4	0.17		
感染性胃腸炎	191	7.96	8.92	↗	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	33	1.38	2.28	↗	流行性角結膜炎	4	0.50	1.16	
手足口病	18	0.75	0.63		細菌性髄膜炎	1	0.14	-	
伝染性紅斑	4	0.17	0.24		無菌性髄膜炎	-	-	0.25	
突発性発疹	13	0.54	0.70		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.50	
百日咳	2	0.08	0.02		クラミジア肺炎 (注4)	-	-	-	
風しん	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	3	0.13	0.12						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)  
小児科定点数 24  
眼科定点数 8  
性感染症定点数 9  
基幹定点数 7

(注1) 過去4年間の同時期平均 (定点当り)  
(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く  
(注3) 成人麻疹を除く  
(注4) オウム病を除く

1類 ~ 5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	細菌性赤痢	1	8	女性(30歳代)
4	つつが虫病	1	2	女性(60歳代)
5	急性脳炎	1	2	男性(10歳未満)
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	2	男性(80歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	18	男性(40歳代)

## 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

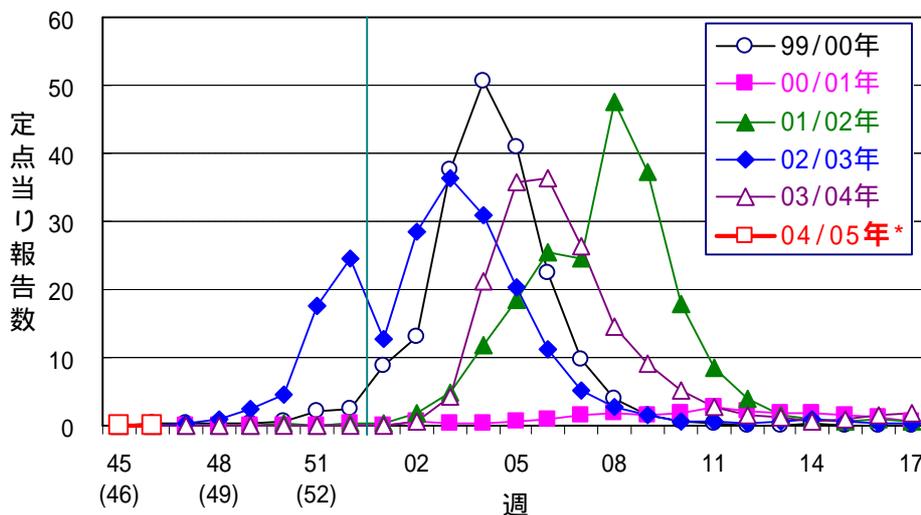
報告数	広島市	第43週	第44週	第45週	第46週	第47週	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎																
							インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎
定点当り	広島市	第43週	-	0.13	0.54	3.75	1.00	0.21	0.04	0.63	0.08	-	0.17	-	0.71	0.04	-	0.50	-	0.14	0.43	-	-
		第44週	-	0.08	0.63	4.33	0.67	0.13	0.04	0.96	-	-	0.08	-	0.96	-	-	0.63	-	-	-	-	-
		第45週	-	0.08	0.92	5.38	1.00	0.33	0.13	0.71	0.08	-	-	-	0.79	-	-	0.75	-	0.14	0.14	-	-
		第46週	-	0.13	1.21	8.46	1.25	0.17	0.13	0.50	0.04	-	-	-	0.88	0.08	-	1.00	0.14	-	0.29	-	-
		第47週	0.03	0.08	1.38	7.96	1.38	0.75	0.17	0.54	0.08	-	-	0.13	-	1.17	0.17	-	0.50	0.14	-	0.43	-
全国	第45週	0.03	0.12	0.90	3.13	1.01	0.90	0.13	0.62	0.01	0.01	0.09	-	0.87	-	0.01	0.64	0.02	0.05	0.30	0.01	-	
	第46週	0.05	0.15	1.10	3.86	1.16	0.92	0.16	0.68	0.02	-	0.08	-	1.10	-	0.01	0.68	0.04	0.04	0.43	0.01	-	

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

## 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	0	女	2004/10/14	糞便	小型球形ウイルス(SRSV)
無菌性髄膜炎	6	男	不明	咽頭拭い液	エコーウイルス6型
不明熱, CMV感染の疑い	0	男	2004/09/20	尿	エコーウイルス6型

## 【参考】広島市における過去5シーズンのインフルエンザの定点当り報告数の推移



インフルエンザは、年末ごろから報告数が増え始め、年が明けてから本格的な流行になる場合が多いですが、2002/2003年シーズンのように、12月初め(第49週ごろ)から流行期に入ることもあります。

**流行に備え、早めにワクチン接種を受けましょう**

\* 04/05年シーズンは、第53週までであるため、グラフでは( )内の週に対応している。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail [eiken@city.hiroshima.jp](mailto:eiken@city.hiroshima.jp)

2004年第47週 (11月15日～11月21日)